

# クイズに答えて素敵な商品をGET

**Q** 夏の定番ともいえる西瓜(すいか)ですが、日本での生産量は約36万トンです。かなりの量を生産しているのですが、世界での生産量では日本は27位ほどです。ではどこの国が世界で一番西瓜を作っているかという、それはやはり中国です。では中国はどれくらい西瓜を生産しているのでしょうか？(2014年のデータ参考)

- ① 約7400万トン ② 約388万トン ③ 約109万トン

**応募方法** 同封のハガキ解答欄に回答をご記入の上、御返信下さい。

皆様のご応募  
お待ちしております

今回の  
商品は  
こちら

⑦ 運がよくなる  
仏教の教え 3名



⑧ スイカ 全面プリント  
ゴルフボール  
(3個入り) 3名



⑨ すいかパン  
(大丸松坂屋) 2名



**応募期間** 2018年9月30日(日)(消印有効)まで

**当選発表** 賞品の発送をもって当選とさせていただきます。

## 社員紹介



和田 修次  
(わだ・しゅうじ)

今年の2月入社した和田と申します。趣味は筋トレで休日は大体鍛えています。まだまだ未熟者ですが、どうぞよろしくお願いいたします。

**生年月日** 1994年11月26日

**血液型** B型

**マイブーム** 筋肉トレーニング



工事部の先輩、菅さんが二の腕のトレーニング中の様子です。

ご意見・ご感想・質問などどんなことでもお便り下さい。

創業300年 技術の

**国松石材株式会社**

平尾店/福岡市中央区平和3丁目12-27(平尾霊園下)  
TEL 092-401-4194 FAX 092-401-4189

工場/福岡市東区松田3-6-12  
TEL 092-629-1189 FAX 092-629-2043

<http://www.kunimatu.com>

## 編集後記

今回「松ぼっくり」作成に初参加させていただき、たくさんの方を体験・勉強させていただきました。今後はこの経験をいかして精進していきます。

(和田 修次)

# 松ぼっくり

- 1 季節の小話
- 2 お墓の相談室「お墓の天災被害について」
- 3 第33回 町名散歩「志賀島」  
しかのしま
- 4 お墓参りっていいね!  
「お墓参り」の感動的なエピソード  
第8回 萩本欽一さん・千葉公慈さん
- 5 お客様からの声
- 6 お墓のなるほど講座
- 7 国松さん、今なんしようと?  
起源777年 博多祇園山笠
- 8 クイズに答えて素敵な商品をGET!



## 季節の小話 すいか 西瓜

残暑が厳しい今日このごろですが、冷やした西瓜(すいか)がおいしい季節がやってきました。

お盆には皆さんで西瓜を食べられるのではないのでしょうか。こんなに夏の定番といえるほどの西瓜ですが、匂ってご存知ですか？もちろん通常の西瓜は夏が匂です。

ですが、日本一の西瓜の産地である熊本県植木町の西瓜の匂は、なんと4月から6月の春なのです。

西瓜って夏のイメージしかないのが驚きですね。

そんな熊本県植木町の西瓜を食べる機会があったので

食べてみたらさらに驚きました。これがビックリするほど甘いのです。

夏に食べる西瓜より断然おいしく感じました。ぜひ来年は春に西瓜を食べてみてはいかがでしょうか。

きっと驚きますよ。





國松さん、  
今なんしようと？

## 起源777年 博多祇園山笠

こんにちは、國松祥治です。

今回お伝えするのは、お墓の話から少し離れます…

私が住む博多では7月1日～15日にかけて博多祇園山笠が開催されました。

私は赤手拭筆頭として山笠行事に参加させて頂いておりますが、今年は山笠の起源から777年目で、また國松石材にとっても記念すべき年となりましたので話題に上げさせて頂きました。

毎年山笠の時期には皆様にご迷惑をお掛けしてすみません。

これも博多の企業のさだめ、地元に産まれた宿命と思って受け入れておりますが、皆様のご協力とご理解がないと遂行できません。

まずは弊社と山笠の関わりから。

創業地は下呉服町になり、旧町名は横町、山笠は恵比須流の管内になります。

私も産まれた時からずっと参加をしており、物心ついた時には夏は山笠だという意識になってました。そして、いつか私の子供が産まれたら、山笠で親子三代だいあがで台乗りだいあが※をしたいという夢がありました。

昨年幸い子供を授かりまして、今年とうとう社長の父と私、そして息子と一緒に親子三代で山笠の台乗りをすることができました。

博多っ子は誰しもが思い描く夢を実現し、また15日の追い山では櫛田入りメンバーにも選出され

慌ただしくも私にとって大変貴重な夏となりました。

今年の恵比須流の人形は博多の町割りをした太閤秀吉公でした。これからも皆様と一緒に子々孫々まで繋ぎ、繋がれる中でお付き合いを続けていけたらと思いました。

これからも宜しくお願いします。

※台乗り/山笠に乗ること



先日の西日本豪雨被害に際し、被災された方々に心よりお見舞い申し上げます。

いつ何時どういことが起こるかわかりませんが、このような非常事態に遭った際には人命第一だと思いますので、皆様もお気を付けください。

さて、お墓の相談室ということで、今回のテーマは天災被害についてのお知らせを致します。

今回私は、今から13年前の2005年（平成17年）3月に起こった福岡県西方沖地震でのお墓の地震対応のことを思い起こしました。

この年、お墓参りのシーズンに入るお盆前になりお墓の復旧作業の問い合わせが増え朝から晩まで対応をさせて頂いたことを覚えております。

当時福岡、九州では大きな地震は起こらないと言われてきましたが、西方沖、また2016年（平成28年）の熊本・大分の地震で安全神話が崩れてしまいました。

もし地震が起こった場合、石材店のお墓補償はどうなるのか？

基本的には使用者（建立者）の方の責任になりますので、修理等も自費での補修になります。

そういった経験から、現在はお墓の保険というものができましたのでご紹介します。

弊社が認定されている全優石(全国優良石材店の会)が提携している保険会社より安心のパックというものがあります。

特徴は、地震や台風などの天災の他に第三者のいたずらによる被害や盗難にも対応しており、お墓に対するほとんどの事例をカバーできます。にも関わらず、年間8000円で50万円の補償と墓石関連では一番安価な保険料となっております。

もしもの備えに一度検討されてみてはいかがでしょうか。

これからも「お墓の相談室」では色々な情報をお届けできればと思います。



## お墓のなるほど講座

最近の天気は異常ですね。  
年々暑さが増しているように感じているのは私だけでしょうか？

さて、前号では神話にみるお墓の起源についてお話をさせていただきました。

今回は実際に日本で見られるお墓の起源を紹介します。



皆さんは“三内丸山遺跡”を聞いたことはありませんか？

青森県青森市にある縄文時代前期～中期（約5500～4000年前）にあったとされる日本最大規模の集落跡です。岩宿遺跡に次ぐ古さを持つ遺跡です。

この三内丸山遺跡には竪穴式住居や高床式倉庫、また歴史的にも珍しい大型竪穴式住居が検出しています。また樹木や一年草などの食物の栽培をしている痕跡もあり生活も比較的安定していたのではないかとされています。

遺跡の話…お墓なるほど講座の話からズレてる？いえ、実は三内丸山遺跡から“お墓”と“祀る”という文化がはっきりと見られるものが出土しているのです。

集落のメインストリートを挟んで両脇の地面に穴を掘り、向かい合うように埋葬した土壌墓どごぼと呼ばれるものが発掘されました。発掘されているだけでも500基はあるそうです。まだ未発掘なものもあり、海にまで続くと推測されているそうです。死者を身近で大事な場所に埋葬するというのは、感謝や慈しむ気持ちがなければできないと思います。

また環状配石墓かんじょうはいせきぼ、所謂ストーンサークルいわるも発掘されています。この墓はムラ長の墓と考えられています。そしてその中に炭化材もっかんぼが出土しており木棺墓ではないかとされています。丁寧に木の箱まで作っていたんですね～

私たち日本の石材店の考え方の原点がここにあると言っても過言ではありません。

安心して入れる終の棲家作りをさせて頂いている私たちとしても、これからも色々な形のお墓のご紹介ができればと思います。



他にもお墓の歴史は語ると尽きませんが、次号のお楽しみということで。

志賀島

第33回  
町名散歩

し かの しま  
志賀島

今回の町名散歩は、福岡のドライブスポットで人気の志賀島へ行ってきました。

志賀島は金印が発見されたことで有名でドライブスポットや海水浴場などで人気の場所ですが、実はそれだけでなく各所に万葉歌碑が10箇所点在しており、志賀島に関する万葉歌は23首程とされています。

歌に詠まれた志賀島の情景を感じ歌に込められた歌意を調べながら散策すれば一層楽しめるかと思えます。その中で今回は9号歌碑を散策してきましたので紹介します。

「沖つ鳥鴨とふ船は也良の崎

たみて漕ぎ来と聞こえぬかも」

大宰府から対馬に糧を送るよう命じられた宗像郡津磨に代わった志賀の荒雄は、肥前の国の美祢み祢良久「福江島三井楽」から対馬に向かって船出をしたが、暴風雨にあつて海没した。

歌詞の鴨というのは荒雄の船の名、也良の崎は能古の島の北端で、そのあたりを漕いで来る船に荒雄生還の吉報を期待するも叶わない家族の切ない心情が目につかびます。

こういった昔の歌の意味を調べて、歌にこめられた想いを感じながら散策するとより楽しめるかと思えます。



万葉歌集 9号歌碑 ※志賀島南西部の棚ヶ浜に建てられている。

「お墓参り」の感動的なエピソード

第8回 萩本欽一さん・千葉公慈さん

お墓参りっていいね！ 「そこが聞きたい」身近な仏教の疑問

『運がよくなる仏教の教え』（集英社）より

今回は「お墓参り」の感動的なエピソードではありませんが、お墓の問題で悩んでいる方やお墓づくりで直面している問題を、コメディアンのお萩本欽一さんとテレビ番組「ぶっちゃけ寺」（テレビ朝日）にご出演されている曹洞宗宝林寺住職の千葉公慈さんの共著「運がよくなる仏教の教え」より、欽ちゃんのお墓への想いと千葉ご住職の仏教的な解釈がわかりやすく、とても面白く参考になったので取り上げさせていただきました。

お墓をつくる時、なにを基準に選べばいい。

**萩本** お墓の問題で悩んでいる人って、案外多いと思うんです。子供がいなくて、お墓を守ってくれる人がいなくなっちゃうかも知れないし、新しいお墓をつくらうとすると、けっこうな費用がかかる。僕の奥さんもいろいろ考えているらしいけど、お墓をつくる時、宗派のほかはなにを基準に考えればいいですか？

**千葉** 家からお墓までの距離、お墓をつくる費用や管理費など、いろいろ基準はあると思いますが、そのご本人やご家族のご都合で選べばいいと思います。前に述べたように、仏教は生きている人が大事というのがまず基本。お墓づくりやお墓参りで家計や時間が圧迫されることは本末転倒です。もし跡継ぎの問題で悩まれているなら、今は家族や個人で入れる共同のお墓もありますから、それを選ぶのも一つの方法だと思います。

**萩本** 僕は前から芸能関係の人たちが共同で入れるお墓があったらいいなと思っていただけで、共同のお墓ってすでにあるんですか？

**千葉** 私のお寺にもあります。

**萩本** そこに入れば、もしお墓参りをしてくれる人がいなくても、いつも誰かがきれいに掃除してくれる、お花も供えてくれるわけ？

**千葉** そうです。お寺によって多少事情は違いますが、共同のお墓に入ればみんなが家族で、いつも誰かがお花をもってきてくれる。少子化の時代ですし、なかには「自分の家の墓には入りたくない」という方もいらっしゃるの、私もお坊さんの一人として、時代に即したいちばんいい形でお墓を選んでもらえるようにしたいと思っています。

**萩本** お墓はほしいけれど墓守がいなくて心配している人に、共同のお墓のことを教えてあげたいですね。最近では遺灰を山に撒いたり、海に撒いたりして、お墓をつくらない人もいますよですけど、千葉先生からするとあれはどうですか？

**千葉** 樹木葬とか海に遺灰を撒く故人の送り方は、初期仏教の方法に近いんです。そもそも仏教では、「お墓にこだわらず、修行にこだわらなさい」と教えていました。ただし、私の解釈では、お墓はその人が生きた証だと思っんです。

**萩本** あっ、「私の解釈」っていいな。千葉先生の考え、もっと聞きたい。

**千葉** はい。たとえば作家は本が墓標だし、映画監督は映画作品が墓標だと思うんです。でも一般の方はなかなかそういう形で墓標を残せない。ですからお墓をつくって「うちのお父さんはこういう人だった」「おばあちゃんはこういう人生を送った」と語り継ぐことが大事だと思います。そうすることで、過去、現在、未来がつながられる。樹木葬など自然に還す送り方もいいのですが、それだと生きた証がなくなってしまうので、なにかの形で証を残してもらいたいなと思っています。

**萩本** 僕は自分の大好きなお寺を見つけて、お墓の代わりにそのお寺の一角に灯籠を建てるのもいいなと思ってます。大きな灯籠を建てて、千葉先生が教えてくれたグループ方式にしたい。灯籠に芸能人とかテレビ関係者の名前も刻んでみんなのお墓代わりにするのって、だめですか？

**千葉** 素敵なアイデアだと思います。灯籠なら夜も灯るのでお寺の一角を毎晩照らせますし、100年後にそこを訪れた人も、「これが欽ちゃんの灯籠だ」って語り継いでくれますから。

**萩本** この前、「ぶっちゃけ寺」のロケで初めて行った京都の清水寺がすごく気に入ってるので、今のところ清水寺さんが候補です（笑）。



（集英社）発行日：2016年4月26日

お客様の声

國松石材とご縁をいただいたお客様の温かいメッセージをご紹介します

『桜の花びらの彫刻とトーベルマン、愛馬の姿』

糟屋郡にお住まいの崎山様

会社を経営していた主人が亡くなりお墓を建てることを思いました。

生前の主人は田川生まれの炭鉱育ち、川筋気質で男気があり、優しさを持った人でした。

主人は何についてもモダンで粋な上質なものを好んでいましたので、お墓も主人らしいお墓にしようと考えました。



お墓のデザインはこだわりをもって國松石材様との打合せを重ねていき、石の色は主人が好んでいた黒で、インド産の黒御影石にしました。

墓石には好きだった桜を花びらが舞っている感じをデザインして彫刻をしてもらいました。また、主人が寂しくないように飼っていた愛犬のドーベルマンと障害飛越競技の愛馬の姿を、墓石と同じ石でレリーフに彫刻して、「Your love is continuing」—あなたといつもそばにいます—と刻んでいます。

そして、お墓の両側には花壇を設けて、いつも花が咲き、緑があるようにしています。

主人と生前親しくしていただき、お墓に会いに来られる方が、思い浮かべられるようなお墓ができて、主人も喜んでいてと思っています。



祝受賞！ 第23回お墓デザインコンテスト



昨年、全国優良石材店の会が主催する「想いを込めたお墓デザインコンテスト」で崎山様のお墓が入賞されました。

コンテストの審査はデザインだけではなくお墓づくりへの想いにも重点が置かれています。崎山様入賞おめでとうございます。

当社にお墓づくりをたくして頂きありがとうございました。